
DAW/Mac入門



第1回 Mac入門 Mac導入の手引き

Macの勧め

音楽制作には圧倒的にMacが有利です。Windowsでも行えますが、メンテナンス、コストの観点からお勧めできません。特に、Windowsで動くDAWソフト機種ではサードパーティ製の音源やプラグインなどを追加購入する必要があります。これらの追加音源等で動作が不安定になることも多く、不測のシャットダウンなどでデータが飛んでしまうことも多々あります。Macを作っているApple社のDAW「LogicProX」では、DAW単体での音源、プラグインで全ての音楽制作を完結できます。また、優秀な自動保存機能があり、万が一フリーズ・シャットダウンしてしまっても最終作業に限りなく近い状態でプロジェクトファイルが保存されますので安心です。また、Windowsがもしも必要な場合でもMacには「ブートキャンプ」というWindowsを走らせる機能があり、通常のWindowsマシンと変わらず使うことができます。

音楽制作に必要なMacのスペック

音楽制作は動画制作のレンダリングなどとは違い、瞬間最大的なCPU速度を必要とすることはあまりありません。過度なサードパーティ製音源やプラグインを積み増さない限り、おおむね以下のスペックで十分に自己マスタリングまで対応できます。

【MacのCPU性能比較】

Googleで「Mac ベンチマーク」と検索

Topの「Mac Benchmarks - Geekbench Browser」に入る

「Multi-Core」のタブをクリック

CPU	Core i5以上	MacOS GeekBench MultiCoreタブにて数値最低4500以上 理想値6500以上	Core2duo Core i3はダメ
内部ストレージ	SSDを強く推奨	最低256GB以上 LogicProXのフルインストールで80GB以上必要	128GBはダメ
内蔵メモリ	8GB以上	生楽器系などのサンプル音源やサードパーティ音源を使う場合は16GB以上を推奨	

Macの機種について

2017年現在にて、新品の製品であればどの機種を購入しても問題ありません。大別すれば持ち運ばない「デスクトップ型」と、持ち運べる「ノートブック型」に別れます。

「MacBook～」のノートブック型を選択し、MIDIキーボードやオーディオインターフェイスなどを、モバイル用の小型なもので揃えれば、完全に持ち運び可能なDTM環境を構築できます。すでにWindows環境が整っていて、できるだけキーボードやモニターを流用させたいのならば「Mac mini」の選択が良いでしょう。

デスクトップ	
MacPro	ハイエンド機種。音楽制作にはここまでのフルスペックは必要ない。別途モニターが必要。旧モデルのほうが拡張性が高く、今でも人気がある。
iMac	バランスの取れたオールインワン。持ち運べないことを除けばCPが高くお勧め。
Mac mini	Windows環境のモニターやキーボードを流用できる。必要十分なスペック。
ノートブック	
MacBookPro	機能的に申し分ない。15Inchは持ち運ぶには相当苦勞する。
MacBook Air	持ち運びが極めて楽でいて、音楽制作には十分なスペック。唯一メモリが8GB固定なのが泣き所
MacBook	現状最も軽いノートブック。音楽制作には十分なスペック。外部接続がUSB-Cのみなので拡張性に乏しい。

中古品の購入について

音楽制作を中心に考えれば、中古品でも十分に対応させることができます。前ページ表の「CPU」について、Geekbench Browserの最低数値4500以上にて予算に合わせた機種を購入されてもよいかと思います。

Geekbench Browser		Geekbench 4 +	Geekbench 3 +	Benchmark Charts +	Q Search Results
	MacBook Air (13-inch Mid 2012) Intel Core i5-3427U @ 1.8 GHz (2 cores)		4989		
	MacBook Pro (13-inch Late 2011) Intel Core i5-2435M @ 2.4 GHz (2 cores)		4978		
	MacBook Air (11-inch Mid 2013) Intel Core i5-4250U @ 1.3 GHz (2 cores)		4911		
	Mac mini (Mid 2011) Intel Core i5-2415M @ 2.3 GHz (2 cores)		4870		
	MacBook Air (13-inch Mid 2013) Intel Core i5-4250U @ 1.3 GHz (2 cores)		4843		
	MacBook Pro (13-inch Early 2011) Intel Core i5-2415M @ 2.3 GHz (2 cores)		4768		
	MacBook Air (11-inch Mid 2012) Intel Core i5-3317U @ 1.7 GHz (2 cores)		4746		
	MacBook Air (13-inch Mid 2011) Intel Core i7-2677M @ 1.8 GHz (2 cores)		4631		

DTM作業環境について

モニター

LogicProXでは、作業画面の登録や、MacのMissionControlを駆使することで、小さな11inch画面でも効率的な操作が可能です。やはり大画面モニター、複数のモニター環境があると何かと便利です。20inch程度の外部モニターは値段が手頃なので購入を積極的に検討しても良いと思います。

デスク

いわゆるDTM専用デスクなども楽器店などで売っていますが、普通のPCデスクで十分だと思います。一番気にしたいのはMIDIキーボードの配置場所です。デスク下部にスライドレールがあるタイプでMIDIキーボードがおけるものは相当に便利です。また、左右どちらかに配置する場合は右手でマウスやトラックパッド操作を行うことから左に配置することをお勧めします。

周辺機器について

ヘッドフォンやMIDIキーボードの購入についてはインターネット通販の「サウンドハウス」をお勧めします。

ヘッドフォン

「モニター用ヘッドフォン」の購入を勧めます。SONYのMDR-CD900STが業界標準になっていますが、過去の施設での大量導入にてかなり壊れやすいことが発覚しています。サウンドハウスのプライベートブランドである「Classic Pro CPH-7000」はコストパフォーマンスに非常に優れた製品で、しかも丈夫でお勧めです。

MIDIキーボード

鍵盤のタッチ感覚は打ち込み作業の速さに直結します。M-Audio社の製品をお勧めします。鍵盤練習にも使うには49鍵以上がよいでしょう。「Keystation49」を勧めます。また、外部フィジカルコントローラーと一体化の「Oxygen-49/61」もお勧めです。モバイル環境には「Keystation Mini32II」がよいでしょう。

モニタースピーカー

YAMAHAのMSPシリーズやFOSTEXのPMシリーズなどがおすすめです。一押しはPC通販サイト「ドスパラ」でしか買えない「Edifire R1000TCN-DP」です。値段からは信じられない解像度の素晴らしい音がします。

オーディオインターフェース・マイクについて

歌を録音する。ギターを録音する。インターネットで生放送する。最高音質でのモニター環境を構築したいなど、目的によって選ぶ機種が様々になります。